

やなぎの子

坂戸市立片柳小学校 学校だより
令和8年度5月号(令和8年4月24日発行)
児童数: 336名
Tel 283-4735 Fax 289-1015

学校教育目標

よく考え 心豊かに たくましく

【校訓】かしこい子 たくましい子 やりぬく子 なかよくする子 気持ちよく働く子

《交通安全教室を実施しました。》

年度当初の4月10日(金)、全学年で交通安全教室を実施しました。

ちょうど春の全国交通安全週間が4月6日(月)から15日(水)まで実施されていました。4月10日(金)は、「交通事故死ゼロを目指す日」でもありました。

埼玉県重点目標は2つありました。

本誌発行の時点では、終了したのですが、大事なものなので、詳細を記します。

1点目は、自転車への交通反則通告制度導入に伴う交通ルールの遵守とヘルメット着用促進

- 交通反則通告制度とは、一定の交通違反に対して青切符が交付され、反則金を納付したときは、刑事手続きに移行することがなく、起訴されない制度です。例えば、自転車運転時での携帯電話の使用等(保持)の場合、12,000円の反則金が課されます。
- 飲酒運転や妨害運転等はこれまでと同様に赤切符が適用されます。
- 自転車事故で亡くなった方の原因で最も多いのは頭部を負傷したことによるものです。
- 自分自身の命を守るため、自転車に乗る場合はヘルメットを着用しましょう。



2点目は、横断歩道における歩行者優先の徹底

- ドライバーの皆さんは
 - ・ 横断歩道手前では減速!
 - ・ 横断歩行者等がいる場合は一時停止!
 - ・ 横断歩道手前での追い抜き・追い越しは禁止!
 - ・ 横断歩道手前に停止車両等があるときは、側方通過前に必ず一時停止!
- 歩行者の皆さんは
 - ・ 横断歩道を渡る場合は、手を上げるなど、運転者に意思表示を!
 - ・ 横断歩道を渡る時は左右の安全確認を!



それと、自転車に乗る家族がいる場合には、保険への加入をお願いします。

近年、自転車による歩行者に対する事故により、多額の賠償請求が報告されています。それに伴い、保険加入者が増加しています。しかし、賠償請求額の高額化に伴い、保険料も高くなっています。

佐藤の場合、子供が自転車に乗っていた頃は、自家用車の任意保険にオプションとして付いていたので、必要な場合はそれを利用するつもりでした。

ともあれ、片柳小学校に通っている全ての子どもたちが、交通事故の被害者にも加害者にもしてはいけません。子どもたちが片柳の地で安心・安全に生活できるよう、学校・保護者・地域が一緒になって子どもたちを見守っていきましょう。

《授業参観・懇談会ありがとうございました。》

4月15日(火)から24日(金)にかけて、本年度最初の授業参観・懇談会がありました。お忙しい中、多くの保護者の方に学校までご足労頂き、本当にありがとうございました。

当日は、各クラスとも子供同士が楽しく学べることを目指した授業を見ていただきました。懇談会では、各担任からは学年・クラスでの方針等を具体的に説明させていただきました。

佐藤の方では、所用の為、私が挨拶できなかった学年があり、申し訳なく思っております。

片柳小学校の子供の健やかな成長を保護者の方と共有しながら教育活動を推進してまいります。その為には、家庭・学校での子供の姿、小さな変化をお互いに共有することが大切だと感じています。何か気になることや不明な点、子供の小さな変化等、気軽に担任と共有できればと考えております。

また、教育活動について、様々な面でご家庭の協力をお願いすることがあります。趣旨等を踏まえ、ご理解・ご協力を賜りますよう、改めて、お願い申し上げます。



《防災訓練を実施しました》 ◎ よく考え ◎ たくましく

本年度より従来「避難訓練」と呼んでいたものを「防災訓練」に改めました。理由は単純です。自然災害が発生したからと言って、絶対に校舎の外に避難する必要がないからです。

現在、地震による学校校舎の崩壊は皆無です。2024年10月時点、公立小中学校の99.9%が学校耐震化が完了しています。

ただし、注意すべきことがあります。渡り廊下など校舎との接合部分は、大地震の影響を受けます。また、内壁、外壁、照明などの非構造部材については、落下や破損の可能性があります。つまり、教室の外に出たら、校舎接合部分の廊下に大きな段差があり、廊下にはガラスの破片が散乱し、下駄箱は横倒し、外壁部材が落下している、そして、余震が頻発する中、校舎外に避難する必要はあるのでしょうか？

教室内も注意すべきことがあります。天井のエアコンが落下するかもしれません。電子黒板が倒れてくるかもしれません。先生の大きな机が迫ってくるかもしれません。

地震を感じた時、「落ちてこない 倒れてこない 動いてこない」場所で、自分自身の命を守れるようになる必要があります。丈夫な机があれば、その中に潜り込みます。何もないければ、頭部を守ります。とにかく、自分の頭部を守ることが最も大事になります。

また、余震が続きます。余震を感じたら、その場で必要な行動を自らとれるようになることが大事です。

11月21日(土)、片柳小学校で坂戸市民総合防災訓練を実施します。当日の日程や内容については、今後、市役所防災安全課と話し合いながら決めていきます。当日の振替休業日は、11月27日(金)の予定です。当日、保護者の方による引き取り訓練も予定しています。

ぜひ、地域で防災について考えるきっかけとなれば、ありがたいです。



私は、自分の命は自分で守れるようにすることが学校に課せられていると考えています。そのためには、必要な知識は伝え、それをもとに子供たちが自分の命を守るための行動がとれるようにすることです。ご家庭でも、大規模災害の際、家族での決め事などについて、話し合っはいかげでしょうか。